

ワケ カタチには理由がある(106)

Shape follows Function
& Taste

～ホーカー・テンペスト(Tempest)Mk.V



[タイフーンと(主翼だけでなく、機首もテンペストの方が長い)↑]

[スピットファイア Mk.22 と (主翼輪郭が似ている) ↓]



ホーカー社がタイフーンと同時期に開発した戦闘機です。機首のエンジン下に取り付けられた顎型のラジエーターが同じため、パッと見では、両者の区別はつきませんが、もともと開発コンセプトが違う戦闘機で、一番大きな相違点は、テンペストは空戦に適した薄い主翼を持っていることでした。両者を並べるとよくわかりますが、さらにテンペストはタイフーンに比べて機首も長く、洗練された外観を有していました。なお、主翼に関しては、中学生時代からの付き合いになる模型友人(半世紀！w)が「スピットファイア Mk.22 ってテンペストの主翼と似てますね」と指摘してくれて、ホントだ！と膝を叩きました。主翼を再設計したスピット Mk.22(21)がテンペストの主翼を参考にしたという技術史は確認できませんでしたが、クロスゲルマンなどのエースが使ったテンペストは優れた戦闘機で、開発時期から考えると主翼輪郭の類似は偶然ではないように思います。

【模型について】

英国のエアフィックス(Airfix)の1/72のキットをストレートに作っています。新しいキットだけあって、アゴラジエータなどうまく表現して、かつ組立易かったです。(中川裕幸 2024年6月)